

CF計算書①

CF計算書の概要

【CF計算書の問題の特徴】



2次試験では数年に1度出題あり。得点も高く差がつきやすい

➡対策しないわけにはいかない…！



符号（＋－）の反転や条件考慮、ちょっとした計算ミスで正答にたどりつけない

➡基本の理解と慣れが必要！（応用編は余裕のある範囲で後付けで）



実務でも重要！

➡今後のために、この際にマスターするのがおすすめ！

【実際の過去問を見てみよう！】H23 2次事例Ⅳ

第1問 設問2

D社の営業キャッシュフローの計算過程を(a)欄に示し、今後の経営上の課題について(b)欄に100字以内で述べよ。

貸借対照表 (単位:百万円)			
	D社 平成21年度末	D社 平成22年度末	同業他社 平成22年度末
資産の部			
流動資産	851	900	469
現金・預金	126	163	68
受取手形・売掛金	339	360	200
貸倒引当金	△3	△3	△2
有価証券	10	10	20
棚卸資産	377	368	182
その他流動資産	2	2	1
固定資産	425	402	377
土地	162	162	117
建物・機械装置	689	689	341
減価償却累計額	△468	△490	△147
投資有価証券	42	41	66
資産合計	1,276	1,302	846
負債の部			
流動負債	578	579	340
支払手形・買掛金	298	285	118
短期借入金	198	210	145
未払法人税等	2	4	3
その他流動負債	80	80	74
固定負債	374	390	256
長期借入金	350	368	234
その他固定負債	24	22	22
負債合計	952	969	596
純資産の部			
資本	13	13	11
利益剰余金	3	3	1
別途積立金	300	300	226
繰越利益剰余金	8	17	12
純資産合計	324	333	250
負債・純資産合計	1,276	1,302	846

損益計算書 (単位:百万円)		
	D社 平成22年度	同業他社 平成22年度
売上高	2,450	1,935
売上原価	1,972	1,539
売上総利益	478	396
販売費・一般管理費	428	362
営業利益	50	34
営業外収益	5	11
(うち受取利息)	(5)	(10)
営業外費用	40	21
(うち支払利息)	(40)	(21)
経常利益	15	24
特別利益	—	1
特別損失	—	2
税引前当期純利益	15	23
法人税等	6	9
当期純利益	9	14



対策してなかったら
絶望的だ…

【間接法 vs 直接法】

プロセスの違いなので、どちらも結果は同じ！

- ①間接法
- ・BSとPLがあれば計算できる！（逆算して求めていく）
 - ・直接法に比べると手間がかからない ➡ 実務的に多くの企業が採用

- ②直接法
- ・主要な取引（商品の販売や仕入、給料の支払、経費の支払etc.）ごとにキャッシュ・フローを総額表示する方法

【CFの3区分】



常に、**キャッシュ（現預金）**がどう動くか
（＝増えるor減る）の観点で考えるってことだね！

①営業活動によるCF（営業CF）

(1)小計 **ポイント** 本来の営業活動によるキャッシュの動き

(2)営業CF (投資CFにも財務CFにも分類できない取引を含めた) 営業活動によるキャッシュの動き

②投資活動によるCF（投資CF）

➡固定資産の取得/売却、有価証券の取得/売却etc.でのキャッシュの動き

...固定資産を取得したら減り、売却したら増える！ **ヒント**

③財務活動によるCF（財務CF）

➡借入金の増減、配当金の支払etc.でのキャッシュの動き

...借入をしたら増え、借入返済したら減る！ **ヒント**



【営業CFの基本構成】（要暗記！）



言い換え表現



- ①税引前当期純利益
- ②減価償却費
- (③貸倒引当金の増加額)
- ④営業外収益
- ⑤営業外費用
- (⑥有形固定資産の売却損益)
- ⑦売上債権の増加額
- ⑧棚卸資産の増加額
- ⑨仕入債務の増加額
- (⑩その他流動資産の増加額)
- (⑪その他流動負債の増加額)
- 小計
- ①利息の受取額
- ②利息の支払額
- ③法人税等の支払額
- 営業活動によるCF

受取利息 / 受取利息及び受取配当金
支払利息
…の売却益 / 売却損、特別利益 / 特別損失、土地の… / 備品の…
売掛金の… / 売上債権の増減額 / 売上債権の減少額
棚卸資産の増減額 / 棚卸資産の減少額
買掛金の… / 仕入債務の増減額 / 仕入債務の減少額

営業CF / 営業活動CF / 営業活動によるキャッシュフロー

【営業CFの基本構成】

①税引前当期純利益	スタートは税引前当期純利益！ここから色々と調整してCFを求める。
②減価償却費 (③貸倒引当金の増加額)	非資金費用の調整 → 実際にはキャッシュは流出していないので足し戻して調整
④営業外収益 ⑤営業外費用 (⑥有形固定資産の売却損益)	営業活動以外の損益の調整（小計では純粋な営業活動のみを見たいから！） → 営業外収益はマイナスし、営業外費用はプラスして調整
⑦売上債権の増加額 ⑧棚卸資産の増加額 ⑨仕入債務の増加額 (⑩その他流動資産の増加額) (⑪その他流動負債の増加額)	運転資金に関する調整 → 資産サイドの売上債権(売掛金)や棚卸資産の増加はマイナスし、 負債サイドの仕入債務(買掛金)の増加はプラスして調整
小計	その他の調整 → 運転資金の調整と同じ考え方
①利息の受取額 ②利息の支払額 ③法人税等の支払額	本来の（純粋な）営業活動によるキャッシュの動き（＝真の営業CF!?) 営業CFにも投資CFにも財務CFにも区分されないキャッシュの動きを調整 → 利息の受取額はプラス、利息/法人税等の支払額はマイナスする
営業活動によるCF	以上を合計して営業CFを求める！

CF計算書②
減価償却費
売上債権
仕入債務
調整の考え方

前回の復習【営業CFの基本構成】

①税引前当期純利益	スタートは税引前当期純利益！ここから色々と調整してCFを求める。
②減価償却費	非資金費用の調整
(③貸倒引当金の増加額)	→ 実際にはキャッシュは流出していないので足し戻して調整
④営業外収益	営業活動以外の損益の調整（小計では純粋な営業活動のみを見たいから！）
⑤営業外費用	→ 営業外収益はマイナスし、営業外費用はプラスして調整
(⑥有形固定資産の売却損益)	
⑦売上債権の増加額	運転資金に関する調整
⑧棚卸資産の増加額	→ 資産サイドの売上債権(売掛金)や棚卸資産の増加はマイナスし、
⑨仕入債務の増加額	負債サイドの仕入債務(買掛金)の増加はプラスして調整
(⑩その他流動資産の増加額)	その他の調整
(⑪その他流動負債の増加額)	→ 運転資金の調整と同じ考え方
小計	本来の（純粋な）営業活動によるキャッシュの動き（＝真の営業CF!?)
①利息の受取額	営業CFにも投資CFにも財務CFにも区分されないキャッシュの動きを調整
②利息の支払額	→ 利息の受取額はプラス、利息/法人税等の支払額はマイナスする
③法人税等の支払額	
営業活動によるCF	以上を合計して営業CFを求める！

【営業CF(間接法)の調整の意味】

①税引前当期純利益	キャッシュの動きになるよう調整
②減価償却費	
(③貸倒引当金の増加額)	
④営業外収益	
⑤営業外費用	
(⑥有形固定資産の売却損益)	
⑦売上債権の増加額	
⑧棚卸資産の増加額	
⑨仕入債務の増加額	
(⑩その他流動資産の増加額)	
(⑪その他流動負債の増加額)	
①利息の受取額	
②利息の支払額	
③法人税等の支払額	
営業活動によるCF	



営業CF(間接法)って...何がしたいの？

税引前当期純利益を調整してキャッシュの動きを求めたい！



「利益」と「キャッシュフロー」には差があるから！



差を生む原因は？

利益 = 売上 - 費用

- ・ キャッシュアウトしていないのに費用に含まれているもの
- ・ 売上増加（＝利益増）につながっているのに、キャッシュの増加にはつながっていないもの
- ・ 費用増加（＝利益減）につながっているのに、キャッシュの減少につながっていないもの

【減価償却費の調整の意味】



減価償却費の調整って？

売上	600 (すべて現金での売上)
費用	500 (うち減価償却費が200。300は現金支出の費用)
利益	100



キャッシュフローも100でいいかな？



減価償却費の200は実際キャッシュアウトしていない！



利益から調整してキャッシュの動きを求めるなら、200を足し戻さない！

$$\begin{aligned} \text{営業キャッシュフロー} &= \text{利益}100 + \text{減価償却費}200 \\ &= 300 \text{ (キャッシュの増加は300ということ)} \end{aligned}$$

【売上債権の調整の意味①】



売上債権の増加額の調整って？

売上	600 (うち200は売掛金。400は現金での売上) * 前期の売掛金は0
費用	500 (すべて現金支出の費用)
利益	100



キャッシュフローも100でいいかな？



売掛金の200は実際まだキャッシュインしていない！(今期売上計上、来期入金)



利益から調整してキャッシュの動きを求めるなら、200をマイナス調整しないと！

$$\begin{aligned} \text{営業キャッシュフロー} &= \text{利益}100 - \text{売上債権の増加額}200 \\ &= -100 \text{ (キャッシュは100減少したということ)} \end{aligned}$$

【売上債権の調整の意味②】

売上	600	(うち200は売掛金。400は現金での売上)	* 前期の売掛金は150
費用	500	(すべて現金支出の費用)	
利益	100		



キャッシュフローも100でいいかな？



売掛金の200は実際まだキャッシュインしていない！(今期売上計上、来期入金)

前期の売掛金の150は当期売上計上されていないが、当期150の入金があった！



利益から調整してキャッシュの動きを求めるなら、
プラス150とマイナス200の調整(＝増加分の50のマイナス調整)をしないと！

$$\begin{aligned}\text{営業キャッシュフロー} &= \text{利益}100 - \text{売上債権の増加額}50 \\ &= 50 \text{ (キャッシュは50増加したということ)}\end{aligned}$$

【仕入債務の調整の意味①】



仕入債務の増加額の調整って？

売上	600	(すべて現金での売上)	
費用	500	(うち200は買掛金。300は現金支出の費用)	* 前期の買掛金は0
利益	100		



キャッシュフローも100でいいかな？



買掛金の200は実際まだキャッシュアウトしていない！(今期費用計上、来期出金)



利益から調整してキャッシュの動きを求めるなら、200をプラス調整しないと！

$$\begin{aligned}\text{営業キャッシュフロー} &= \text{利益}100 + \text{仕入債務の増加額}200 \\ &= 300 \text{ (キャッシュは300増加したということ)}\end{aligned}$$

【仕入債務の調整の意味②】

売上	600	(すべて現金での売上)
費用	500	(うち200は買掛金。300は現金支出の費用) * 前期の買掛金は150
利益	100	



キャッシュフローも100でいいかな？



買掛金の200は実際まだキャッシュアウトしていない！(今期売上計上、来期入金)

前期の買掛金の150は当期費用計上されていないが、当期150の出金があった！



利益から調整してキャッシュの動きを求めるなら、
マイナス150とプラス200の調整(＝増加分の50のプラス調整)をしないと！

営業キャッシュフロー = 利益100 + 仕入債務の増加額50
= 150 (キャッシュは150増加したということ)

【営業CF(間接法)の調整の意味】

① 税引前当期純利益	キャッシュの動きになるよう調整
② 減価償却	
(③ 貸倒損失の増加額)	
④ 営業資産の売却	
⑤ 営業負債の増加	
(⑥ 有形固定資産の売却損益)	
⑦ 売上増加	
⑧ 棚卸増加	
⑨ 仕入増加	
(⑩ その他有形固定資産の増加額)	
(⑪ その他無形固定資産の増加額)	
① 利息収入	調整
② 利息支出	
③ 法人税等の支払額	
営業活動によるCF	



営業CF(間接法)って...何がしたいの？

税引前当期純利益を調整してキャッシュの動きを求めたい！



「利益」と「キャッシュフロー」には差があるから！



差を生む原因は？

利益 = 売上 - 費用

- ・ キャッシュアウトしていないのに費用に含まれているもの
- ・ 売上増加(＝利益増)につながっているのに、キャッシュの増加にはつながっていないもの
- ・ 費用増加(＝利益減)につながっているのに、キャッシュの減少にはつながっていないもの



CF計算書③

棚卸資産 調整の考え方 運転資金の増減の暗記法

【基本例題 ○× 3問】

- Q1. 減価償却費は非資金費用であるので、間接法で営業CFを計算する際に減算して調整する。
- Q2. 棚卸資産の減少は営業CFの増加要因になる。
- Q3. 買掛金の減少は営業CFの増加要因になる。

【営業CF(間接法)の調整の意味】

①税引前当期純利益	
②減価償却費	
(③貸倒損失の増加額)	
④営業外収入	
⑤営業外支出	
(⑥有形固定資産の売却損益)	
⑦売上増加額	
⑧棚卸資産の増加額	
⑨仕入増加額	
(⑩その他有形固定資産の増加額)	
(⑪その他有形固定資産の増加額)	
①利益調整	
②利息調整	
③法人税等の支払額	
営業活動によるCF	

キャッシュの動きになるよう調整



営業CF(間接法)って...何がしたいの？

税引前当期純利益を調整してキャッシュの動きを求めたい！



「利益」と「キャッシュフロー」には差があるから！



差を生む原因は？

$$\text{利益} = \text{売上} - \text{費用}$$

- ・ キャッシュアウトしていないのに費用に含まれているもの
- ・ 売上増加（＝利益増）につながっているのに、キャッシュの増加にはつながっていないもの
- ・ 費用増加（＝利益減）につながっているのに、キャッシュの減少につながっていないもの

【棚卸資産の調整の意味①】



棚卸資産の増加額の調整って？

売上	600	(すべて現金での売上)
費用	500	(すべて現金支出の費用)
利益	100	

* 前期の棚卸資産0、当期の棚卸資産200



キャッシュフローも100でいいかな？



当期棚卸資産の200はPLに表れないが、今期キャッシュアウトしている。



利益から調整してキャッシュの動きを求めるなら、200をマイナス調整しないと！

$$\begin{aligned}\text{営業キャッシュフロー} &= \text{利益}100 - \text{棚卸資産の増加額}200 \\ &= -100 \text{ (キャッシュは100減少したということ)}\end{aligned}$$

【棚卸資産の調整の意味②】

売上 600 (すべて現金での売上)

費用 500 (すべて現金支出の費用)

利益 100

* 前期の棚卸資産150、当期の棚卸資産200



キャッシュフローも100でいいかな？



当期棚卸資産の200はPLに表れないが、今期キャッシュアウトしている。

前期棚卸資産の150は、前期キャッシュアウトで今期はキャッシュアウトしていない



利益から調整してキャッシュの動きを求めるなら、
マイナス200とプラス150の調整 (= 増加分の50のマイナス調整) をしないと！

営業キャッシュフロー = 利益100 - 棚卸資産の増加額50
= 50 (キャッシュは50増加したということ)

【営業CFの基本構成】

①税引前当期純利益

②減価償却費

(③貸倒引当金の増加額)

④営業外収益

⑤営業外費用

(⑥有形固定資産の売却損益)

⑦売上債権の増加額

⑧棚卸資産の増加額

⑨仕入債務の増加額

(⑩その他流動資産の増加額)

(⑪その他流動負債の増加額)

小計

①利息の受取額

②利息の支払額

③法人税等の支払額

営業活動によるCF

スタートは税引前当期純利益！ここから色々と調整してCFを求める。

非資金費用の調整

→ 実際にはキャッシュは流出していないので足し戻して調整

営業活動以外の損益の調整 (小計では純粋な営業活動のみを見たいから！)

→ 営業外収益はマイナスし、営業外費用はプラスして調整

運転資金に関する調整

→ 資産サイドの売上債権(売掛金)や棚卸資産の増加はマイナスし、
負債サイドの仕入債務(買掛金)の増加はプラスして調整

その他の調整

→ 運転資金の調整と同じ考え方

本来の(純粋な)営業活動によるキャッシュの動き (= 真の営業CF!?)

営業CFにも投資CFにも財務CFにも区分されないキャッシュの動きを調整

→ 利息の受取額はプラス、利息/法人税等の支払額はマイナスする

以上を合計して営業CFを求める！

【運転資金の増減をイメージで覚える】

⑦売上債権の増加額
⑧棚卸資産の増加額
⑨仕入債務の増加額

運転資金についての調整
➡ 資産サイドの売上債権(売掛金)や棚卸資産の増加はマイナスし、
負債サイドの仕入債務(買掛金)の増加はプラスして調整

	【資産の部】	【負債の部】
流動資産	現金・預金＝キャッシュ	買掛金＝仕入債務
	売掛金＝売上債権	流動負債
	棚卸資産	固定負債
固定資産		【純資産の部】

【運転資金の増減をイメージで覚える】

⑦売上債権の増加額
⑧棚卸資産の増加額
⑨仕入債務の増加額

運転資金についての調整
➡ 資産サイドの売上債権(売掛金)や棚卸資産の増加はマイナスし、
負債サイドの仕入債務(買掛金)の増加はプラスして調整

	【資産の部】	【負債の部】
流動資産	現金・預金＝キャッシュ	買掛金＝仕入債務
	売掛金＝売上債権	流動負債
	棚卸資産	固定負債
		【純資産の部】

？ 売掛金が増加すると？
↓
キャッシュは減少

？ 売掛金が減少すると？
↓
キャッシュは増加

ポイント

資産サイドの売上債権や棚卸資産の増加はCFのマイナス要因になる

【運転資金の増減をイメージで覚える】

- ⑦ 売上債権の増加額
- ⑧ 棚卸資産の増加額
- ⑨ 仕入債務の増加額

運転資金に関する調整

➡ 資産サイドの売上債権(売掛金)や棚卸資産の増加はマイナスし、
負債サイドの仕入債務(買掛金)の増加はプラスして調整



【基本例題 ○× 3問】

Q1. 減価償却費は非資金費用であるので、間接法で営業CFを計算する際に減算して調整する。

➡× 減価償却費は加算して処理する。実際はキャッシュアウトしていないから！

Q2. 棚卸資産の減少は営業CFの増加要因になる。

➡○ 資産サイドの棚卸資産(=在庫)減 ➡営業CFは増！

Q3. 買掛金の減少は営業CFの増加要因になる。

➡× 負債サイドの買掛金(=仕入債務)減 ➡営業CFも減！

	【資産の部】	【負債の部】
流動資産	現金・預金 = キャッシュ 売掛金 = 売上債権 棚卸資産	買掛金 = 仕入債務 流動負債 固定負債
固定資産		【純資産の部】